

# 「地域複合サロン」の 広がり と 支える力

宮川町・よらまいかびいず 代表

平澤百合

河合町・ぴいちくサロン会 事務局

林 志保

飛騨市地域包括ケア課 高齢支援係長

竹林久緒

コープぎふ飛騨支所

松原 滋

# コープぎふ・飛騨支所の概況

■組合員数： 15,269人 (2022/3月)

【班 6107人・個人引取 1832人・  
JSS 2137人・宅配 5191人】

【注】JSS(ジョイントサポートシステム)

業務委託した組合員サポーターによる、  
戸別配達システム。

■利用供給高 :16億741万円

(2021年度)

班共同購入 5億2400万円

個人配達 6億4300万円

JSS 2億6000万円

地域ステーション 1億6800万円



自治体名	世帯数	組合員数	加入率
高山市	33,389	12,095	36.2%
飛騨市	8,340	2,888	34.6%
白川村	403	286	70.9%
	42,132	15,269	36.2%

# 飛騨市って？



・根尾選手(河合町)



・君の名は。(宮川町・古川町)

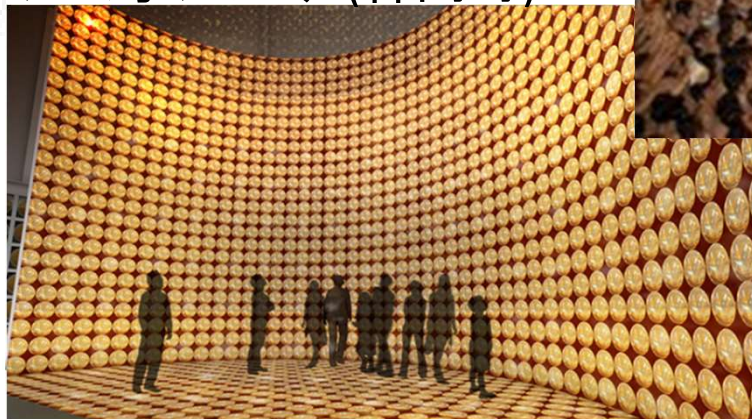




2004年2月、古川町、河合村、宮川村、神岡町の2町2村が合併し、飛騨市が誕生。

総面積 792.5km<sup>2</sup> 約93%が森林  
人口 23,197人 8883世帯  
(2021/6/1)

カミオカンデ(神岡町)



起し太鼓(古川町)

# 飛騨市の方針

## 「あんきに暮らせるまちづくり」

○「飛騨市の目指す、3つの将来像」

「元気で、あんきな、誇りの持てるふるさと飛騨市」 ⇒「元気」、「あんき」、「誇り」

元気:人口減少の影響を軽減するため、地域外から所得を稼ぐ 製造業、農業、観光を振興しようとする取り組み。商品(地域)の魅力を高め、産業を支える人を確保する。産業政策

あんき:地方自治体の本務である市民の安全・安心を守る取り組み。介護、医療、障がい児者支援、低所得対策など。一人ではできないが、誰もがやってほしいと思うことをやる。

誇り:飛騨市の地域資源を掘り起こし、市民の自信につなげることで、飛騨市を誇りに思う気持ちを高め、若者の定着とUターン、移住を促進する。

# 毎年、人口が400人減少している

高齢化率 40.00%

宮川町46.90%

河合町43.42%

神岡町46.34%

古川町36.07%

	平成16年2月	平成30年6月		
古川町	16,538	14,701	△1,837	△11.1%
河合町	1,323	965	△358	△27.1%
宮川町	1,061	638	△423	△40.0%
神岡町	11,226	8,149	△3,077	△27.4%
飛驒市	30,148	24,453	△5,695	△19.0%

飛驒市の人口は 14年4ヶ月の間に 5,695人減少  
1年に概ね400人減少

高齢者のみ世帯が多い 全世帯の約1/3

高齢者のみ世帯	65歳以上		内75歳以上		全世帯数
古川町	1,266	26%	667	14%	4,834
河合町	102	32%	61	19%	320
宮川町	95	38%	62	25%	249
神岡町	1,436	41%	805	23%	3,534
飛驒市	2,899	32%	1,595	18%	8,937

内独居世帯	65歳以上		内75歳以上	
古川町	645	13%	446	9%
河合町	41	13%	28	9%
宮川町	50	20%	39	16%
神岡町	799	23%	545	15%
飛驒市	1,535	17%	1,058	12%

H29.5.1

2022/7/1

高齢化率  
39.7%

人口  
22,702人  
(高齢者 8,839人)

はじまり、、、

2017/5月

## 飛騨市地域包括ケア課の来訪

●飛騨市：

「生協さん、宮川町のもっと北部、富山県境地域へも配達に行ってもらえないでしょうか。」

●生協：

「申し訳ありません。道路事情や現状の効率的な配達を考えるとすぐには無理です。しかし、**こんなこと**が考えられないでしょうか、。。」

このような会話から、はじまりました。

# 改めて、飛騨市来訪の背景 地域の現状



- JA店舗が多数閉鎖される。
- ガソリンスタンドもなくなる！
- 行政が移動販売車の支援を検討している。





# 生協から提案した「**こんなこと**」とは、 『買い物＋地域サロン』の場

- ・商品の良さのすすめあい等、商品を介したくらしの交流が期待できる(共同購入班)。
- ・サロンに集って買物をする事で、生協共同購入のしくみの「複雑さ」や「一人用規格が少ない」等、デメリットの解消につながるかも。
- ・おたがいさまひだ(有償ボランティア組織)の、買物支援の実験や、サロン運営ノウハウ実績等を参考にできる。

⇒生協の買い物インフラとおたがいさまひだのサロン運営の合体

- ・地域の店からも、大型雑貨商品、衣料なども含めて、多様な商品があるといい。
- ・そして、本来の地域の福祉的なサロンを！

# 飛騨市×コープぎふ連携事業

# 「地域複合サロン」

としてまとめられ、運営応援の協力依頼あり

## ●スキーム

### 飛騨市×生活協同組合コープぎふ連携事業 「地域複合サロン」実証試験を開始します！

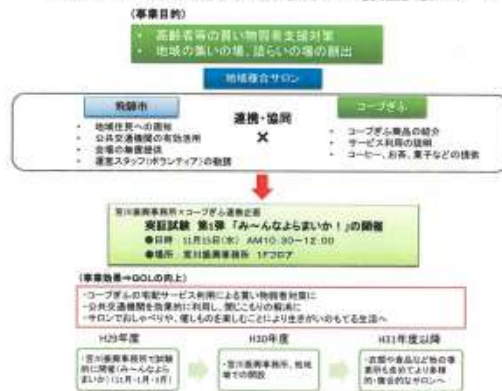
この飛騨市は、生活協同組合コープぎふ（以下「コープぎふ」と連携し、高齢になっても地域で生き生きと暮らしていくための施策として、地域で買い物ができる場、語り合いの場を創出すべく、その実証試験として宮川町域内で「地域複合サロン」（以下「複合サロン」）を開設します。

この複合サロンでは、コープぎふから、同社の宅配商品の紹介や利用方法の説明を行うとともに、さらに同社商品のコーヒー、お茶、菓子類の無償提供を行って頂きます。また飛騨市は、地域住民への周知、公共交通機関の有効活用、会場の無償提供を行い、市民協力で効果的かつ実用的な複合サロンの運営に取り組みます。

平成29年度は11月、1月、3月の計3回「み～んなよらまいか？」を宮川副興事務所において開催し、複合サロンの需要調査と枠組み作りを行い、平成30年度から本格的に開設を目指します。

複合サロンの開設により、新たな買い物弱者支援対象並びに高齢者の社会参加の促進による生きがい作りが期待され、将来的には市内他地域に開設することを目指しています。

### 飛騨市×コープぎふ連携事業「地域複合サロン」実証試験スキーム



- ・ 高齢者等の買い物弱者支援対策
- ・ 地域の集いの場、語り合いの場の創出
- ・ 実証実験を3回行い、以降、**地域自主グループによる運営**を目指す

「広報ひだ」でも紹介される

# 宮川地域複合サロン「み～んなよらまいか」 実証実験のようす

第1回 2017/11/15(水)



自主運営グループ

2018/4月

# よらまいかびいず 結成



# 宮川・よらまいかびいず立ち上げ そして、コロナ禍から今

- 自分の思い(ミニディサービスを継続させたい)と立田さんの思い(地域の人たちが集える場づくり)が共鳴(複合サロンがつないでくれた)
- 賛同してくれた友人たち
- 名前に込めた思い



# 立ち上げから2年間の取り組み

- 様々な企画
- 季節の行事
- 買い物支援



# コロナ禍で開催できなくなった時期

- コロナ感染症拡大のため中止に
- 中止が続きめげそうになる
- 参加してくれる人たちも待っているはず
- 絵手紙を出す



# そして、再開

- 再開の時期の検討
- 再開するにあたっての留意事項（相談を重ねたこと）
- 専門家に相談したこと
- 再開初日に簡単な講演会を行ったこと
- 飲食にも配慮





# 現在の状況

- 各種講演会
- 買い物支援
- 健康体操
- クイズやゲーム
- 季節の行事



# 今後の課題と期待すること

- たくさんの人に参加してもらいたい
- 企画について
- 参加者の足
- サロンの形



# 河合・サロンからつながる地域づくり



# 市職員として 河合町サロンの 関わりから

- サロンは誰が行うものか？

必要性は感じつつも、企画運営までするのは負担という人が多い。

- 共有できるものは共有

備品やノウハウなど

- せっかくなら体に優しく美味しいものを

- 選べる喜びを

- 高齢者のお困りごとは子どものお困りごと

- 地域の課題解決の動きをサロンから



# つながる喫茶 設立

30~40代の主婦4名でスタート

河合町内3つのサロンのお手伝い

運営側の負担を減らし、サロンの定期  
開催を目指す。

湯茶の準備

手作りお菓子の用意

ネタの提案&用意

など



# つながる喫茶 メリット

備品の共有

コーヒーメーカー、ポット

体にやさしく、美味しいものを

地元産材料で作った手作りのお菓子

楽器の演奏

地域の人の特技を生かす場に

地域の交流のきっかけに

多世代の交流



# 多世代を巻き込む

高齢者が抱える課題は、子どもなど全ての弱者も抱えている。

交流の場が欲しいのはどの世代も同じ

ママ友 & 赤ちゃん・嫁に来た人・子どもも誘う

相談できる人・教えてくれる人が増える

地域に顔見知りが増える

困った時、災害時にも相談しやすい



# 小学生親子と高齢者の交流





# 地元小学生によるフラダンスの発表



# オンラインの活用

きっかけはコロナ

しかし、交通の便が悪い場所に住む私  
たちにとってはオンラインはチャンス

隣接する宮川町のサロンとの交流

オンラインで自宅にしながら健康講座  
を受けることもできる

可能性は無限大



# 田舎でも選ぶ楽しみ

週1回のパンサロンと不定期の駄菓子屋

同居家族が買い物をしてくれてくれる人でも、自分の目で選ぶことは楽しい。



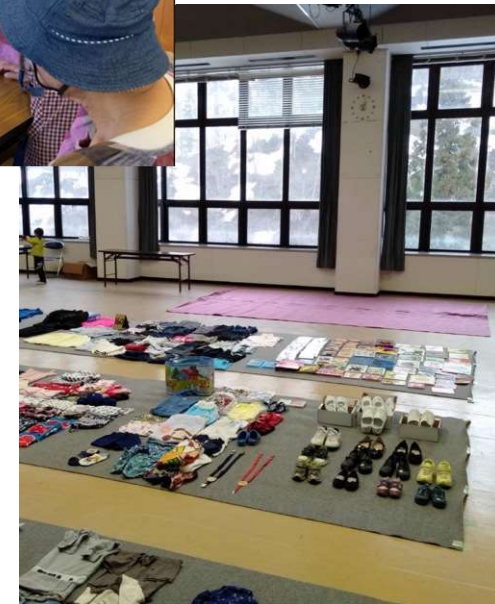
# サロンから スマホ教室 リユース市 薬草グループなど

サロンで出たお困りごとや、やってみたいことを解決 実現

小さな課題解決の蓄積が、地域課題の解決への大きなエネルギーに

やればできる！という自信

自分達のまちは自分達でよくできると  
いう意識



# つながる喫茶 課題

どこまでやるか

現時点では、サロンお助けグループ

サロンを運営することは楽しいこと

関係者それぞれの役割分担

有償ボランティアのような形にしたいが、  
たくさんの方が関わっているので、自分達だけ金銭をもらいにくい。



# 今後の展望

週1回程度の定期的なサロン

食事・交流・買い物・お困りごと相談ができる場

会費制ではなく、参加者が選んだ飲み物や食べ物に対価を支払い、その利益で運営側も負担だけで終わらない仕組み

好きな時間に来て、好きなものが買えて、好きなことができる場

イメージ

喫茶店 × サロン ×

カルチャーセンター × 百貨店



# サロン活動普及に向けた支援のあり方

飛騨市 市民福祉部 地域包括ケア課 高齢支援係

# 市民の健康づくり・医療・介護・公的支援・地域の助け合いがすべて連携した

## 地域ケアの仕組み＝「地域包括ケア」

～市民があんきに自分のまちで暮らせるようにする～





## 地域複合型サロン（買い物サロン）の目的

サロン：健康づくり、生きがいづくり  
介護予防の効果



買い物支援：買い物手段の確保

## サロン活動普及に向けた関わり方（ポイント）

- ・ **地域の方のニーズや課題を丁寧に把握する**  
地域見守り相談員の訪問活動
- ・ **サロン団体のやりたいことを後方支援する**  
無理なく楽しんでもらえる活動 市の取組に合わせてようとしな  
い
- ・ **市民、民間、行政が一緒に取り組んでいく**  
目的の共有と協働の取組



サロン・体操など

# 通いの場へ 出張販売してくれるお店

---

作成 飛騨市役所地域包括ケア課  
☎ 0577-73-6233

## この冊子の使い方

**1** ある日の午後……  
「さういやは、向かいのおばあちゃん、買い物に困ってるんやないな。何とかできんかな？」

**2** 「そりゃ、いいわ。楽しんでもらえな？」  
「次の体操で、出張販売に来てもらわんけな？」

**3** 「あー、でもどんな準備が必要かな？」  
「まず会場に確認やろお。そんで、お店に電話して……」

**4** 「出張販売があるお店なら、これに載ってるよ。」  
「会場に確認取れたら、電話してみんけな。」

**5** 「会場、OK やと！」  
「よかったら、そしやお店に電話してみまほ。……もしも……」  
「一覧やとわかりやすく、便利やな〜」

**6** 「商品お持ちしました〜！ここに並べて良いかな？」  
「当〇〇x商店」

**7** 「ワイワイ」  
「助かるわ〜、便利やなあ。」  
「呼んでよかったあ、楽しんでくりよ。」

## 2つのサロンが大きく発展したポイント

- ・ **先ずはやってみる**

ゴールを決めてやっていない

- ・ **住民の主体性を一番に重視している**

サロンの必要性を感じた住民の主体的な参加

- ・ **市民、民間、行政が一緒に取り組んでいる**

各々の不得意な部分をサポート

# ご清聴ありがとうございました



先が見通せない中であっても、みんなで考えて多様な実証実験を繰り返すこと、それは地域コミュニティーづくりの動きそのものであり、地域の希望であると考えます。